



中世の祈りの形

ちゅううせい

企画展

Forms of Medieval Prayer



木製不動明王立像



金銅製懸仏



銅製観音菩薩立像

2023年 3 / 25 土 ↓ 7 / 1 土

観覧料
〈一般〉…………… 400〔300〕円
〈小・中学生〉…………… 150〔100〕円※

開催時間 / 10時～16時（入館は15時30分まで）

休館日 / 日曜・祝日

住所 / 〒248-0001 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

電話 / 0467-73-8501 FAX / 0467-73-8545

Eメール / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※〔〕内は20名以上団体料金

*本料金で本館平常展示もご覧いただけます。

*身体障がい者手帳の交付を受けた方1名、鎌倉市に通学している小学生から大学生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

学芸員による展示解説
会期中の毎週木曜日10時30分～

板碑



五九七



中世の祈りのかたち

企画展

Forms of Medieval Prayer

鎌倉は幕府が開かれたことで、政治・経済の中心となるだけでなく、宗教の拠点としても発展しました。將軍家、北条一門、有力御家人ゆかりの寺院が建立されるとともに、宗教都市としての基盤が形づくられます。発掘調査では、寺院の他、墓地や屋敷跡、庶民の暮らす地域で信仰に関わる資料が確認でき、その種類も、仏像、仏具、供養塔など様々です。これらは、持仏堂や宅地内での礼拝や念持仏として用いていたと考えられています。出土した資料から、仏への信仰が武士や貴族だけに限らず、庶民にも広まっていたことがわかり、当時の信仰の形を窺い知ることができます。鎌倉に暮らす人々にとって仏教信仰は身近な存在であったといえるでしょう。

本展示では、鎌倉市内から出土した中世の様々な仏具、仏像などの仏教関連資料を中心に、中世の人々がどのようにして仏に願っていたのか、その祈りの形について紹介します。



経筒及び理納品(永福寺跡経塚) 神奈川県指定文化財



銅製観音菩薩立像
由比方浜中世集団墓地遺跡



五拈杆(平等寺跡)



蓮華蕾断片(永福寺跡)
鎌倉市指定文化財



懸仏(長谷寺)



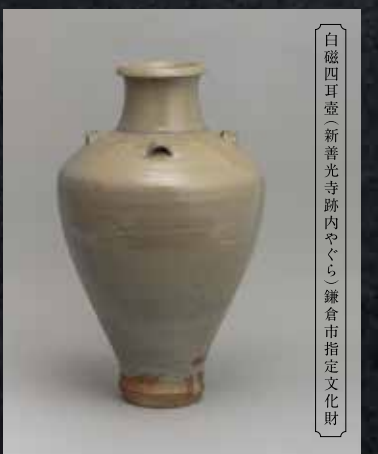
阿弥陀尊図板碑(海蔵寺) 鎌倉市指定文化財



釈迦三尊種子板碑(銭洗弁財天宇賀福神社)



仏華瓶(無量寺跡)



白磁四耳壺(新善光寺跡内やぐら) 鎌倉市指定文化財

鎌倉歴史文化交流館

開催期間 / 2023年3月25日(土)~7月1日(土)
 開館時間 / 10時~16時(入館は15時30分まで)
 休館日 / 日曜・祝日
 観覧料 / <一般> 400 [300] 円 <小・中学生> 150 [100] 円*
 住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
 アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
 電話 / 0467-73-8501 FAX / 0467-73-8545
 Eメール / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp



©Forward Stroke inc



*[]内は20名以上団体料金 *本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
 *身体障がい者手帳の交付を受けた方と付き添い1名、鎌倉市に通学している小学生~大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。
 *一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。*障がい者専用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

◎新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております。